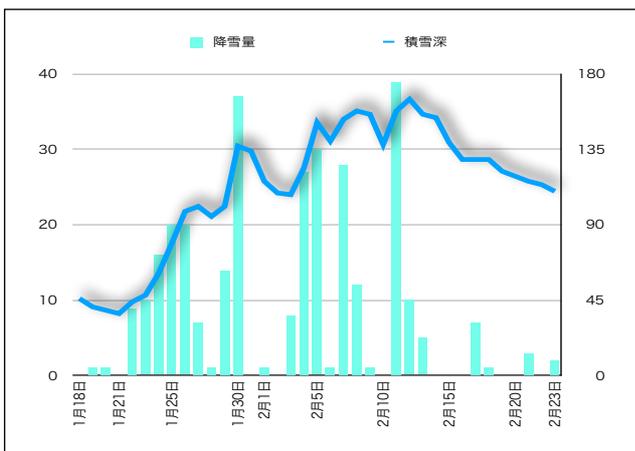


Yamakado News Letter



進入路除雪作業中 2/8



柳ヶ瀬気象データ



除雪後に降り続く雪 2/6

除雪に追われた この一ヶ月

昨年、一昨年に比べて、早い時期から根雪になったものの、前回のニュースレーを発行した頃の印象では、積雪量はさほど多くないなあ、との印象でした。ところが、1月後半から雪降りの日が続き、みるみる積雪量が増加。日替わりで、進入路や沢道の木橋、また屋根の落雪で積み上がった雪の除雪を行う日が続きました。

楽舎の積雪計は1月30日から100cm超えの状態が続いていて、シカの生態にも影響を与えていると思われます。



屋根落雪が通路に入り込む 2/6



沢道木橋の除雪 2/6



屋根落雪の除雪 2/17 Photo Murata

様々な表情を見せる 冬の森

雪景色の森は一見単調そうです。しかし、天候によって様々に変化して、見る人を楽しませてくれます。



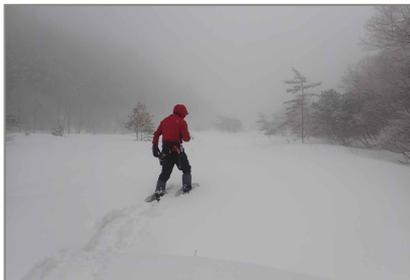
青空と雪原が眩しい 中央湿原 2/14



いつまでも降り続く雪 2/3



曇天の中、照らされる北部湿原 2/5



濃霧の北部湿原を歩く 2/1



中窓から湿原と伊吹山を望む 2/14

今月の森の様子 リスの大運動会？



ニホンリスと思われる無数の足跡の一部 2/19

2月18日に大量のニホンリスの足跡を、広範囲にわたって見かけました。ここ6年ほどの観察では見たことがない量と範囲です。柳ヶ瀬の降雪データを参照すると11日に約40cmとあります。その後しばらく雪上はフワフワの状態、小動物でも動きにくいと思われます。実際にその後しばらくは足跡がほとんど見られませんでした。

一週間が経過して雪が固まった頃の17日、再度10cm程度の降雪がありました。その降雪後に雪上を走り回って付いた足跡のようです。ヒノキ林内の新設作業道の全域にわたって動き回っていて、さながら運動会のようです。何頭いたのでしょうか？雪上に食べ物はなく、何の目的で走り回ったのでしょうか？



ニホンリス '17/12/23



雪上に散乱するヒノキ種子 2/18